

# 蓮舫氏支持強まる

## 保守系一本化難航

### 民進代表選

民進党の岡田代表の任期満了に伴う党代表選（9月2日告示・15日投開票）で、既に出馬表明している蓮舫代表代行が優位な情勢になりつつある。保守系グループの代表格である細野豪志・元環境相が9日、代表選不出馬を正式表明し、蓮舫氏支持に回る方向となったためだ。一方、対抗馬の擁立を模索している保守系グループでは候補一本化が難航し、混乱している。

## 細野氏不出馬表明



細野豪志  
元環境相

細野氏は9日、国会内で記者団に、「誰なら国民に受け入れられるか。それが私なのか熟慮し、方向性を

出した。新代表を支える立場に立ちたい」と不出馬の理由を説明した。蓮舫氏については、出馬会見で憲法改正論議に応じる意向を示したことを挙げ、「極めて有力な候補」と評価した。今月下旬に蓮舫氏と再び会談し、共産党を含む野党共

闘に関する考え方を聞いた上で支持するかどうか最終判断するとした。

蓮舫氏を巡っては、所属する野田前首相グループ（約10人）だけでなく、現執行部メンバーやリベラル派重鎮の赤松広隆・前衆院副議長グループ（約20人）が支持するとみられる。新たに細野グループ（約15人）が加われば、蓮舫氏が一層優位に立つことになる。

この日は、あいさつ回りで民進党幹部を訪れた自民党新執行部のメンバーから「代表かと思った」と声を掛けられた蓮舫氏が、「困ることを言わないで」と苦笑する場面もあった。

立候補に必要な推薦人20人を自前でそろえるのは困難だ。このため、細野氏とたびたび会談して支援を依頼してきた。しかし、細野氏としては、グループ内に「前原さんでは世代交代が進まない」との声もあり、受け入れられなかったようだ。

前原氏は「政治の世界は何でもありだ」と周囲に漏らし、細野氏への不快感を示した。この日は、赤松氏に支援要請するなど出馬の道を模索している。

いち早く出馬の意向を表明した長島昭久・元防衛副大臣は、共産党との共闘に強硬に反対している。政策が一致すれば民共共闘も排除しない前原氏の路線とはやや温度差があり、一本化は進んでいない。



出馬に意欲

前原誠司・元外相  
前原グループ(約25人)

出馬の意向を表明

長島昭久・元防衛副大臣  
長島グループ(約5人)

細野グループ  
(約15人)

保守系

代表選に出馬を表明



蓮舫代表代行

支持の方向

民進党代表選での主な保守系グループの動向

※カッコ内は所属人数。他グループとの掛け持ちを含む

細野氏が蓮舫氏支持に傾いたことで、保守系グループは大きく目算が狂った。前原氏のグループは約25人が所属するが、他のグループとの掛け持ちもいて、